

※送付させて頂いた申告書は新様式となっておりま
すが、記載項目に変更はございません。

記入例

令和8年度

受付印

令和8年 1月 15日

真庭市長 殿

償却資産申告書(償却資産課税台帳)

所 有 者	1 住 所 〔又は納税通 知書送達先〕	① おかやまけんまにわしくせ 岡山県真庭市久世2927-2 (電話 0867-42-1114)
	2 氏 名 〔法人にあつ てはその名 称及び代表 者の氏名〕	② まにわ たろう 真庭 太郎 (屋号 真庭商店)

資産の種類	取 得 價 額				
	前年に取得したもの (イ)		前年に減少したもの (ロ)		前年に取得したもの (ハ)
1 構築物	十億 千 百 万 円 450000	十億 千 百 万 円 500000	十億 千 百 万 円 400000		
2 機械及び 装置	7770000		300000	7800000	
3 船 舶					
4 航 空 機					
5 車両及び 運搬具					
6 工具、器具 及び備品	880000	800000	800000		
7 合 計	9100000	1300000	300000	90000000	

資産の種類	資産の種類			評 價 額	※ 決 定 價 格	※ 課 稅 標 準 額
	1 構築物	十億 千 百 万 円 0	十億 千 百 万 円 0	十億 千 百 万 円 0	十億 千 百 万 円 0	十億 千 百 万 円 0
	2 機械及び 装置					
	3 船 舶					
	4 航 空 機					
	5 車両及び 運搬具					

電算処理により全資産申告を行う事業所は
記入が必要です。

⑯ 【備考】
該当するものを○で囲んでください。
1)添付書類があるときは、その名称
2)納税管理人を定めている場合 氏名及び住所
3)廃業等による資産の譲渡先など
・廃業・解散・転出(令和7年5月5日)
売却先名称 真庭商店
住所 真庭市〇〇番地 Tel. 〇〇-〇〇〇〇

【お願い】
前年中資産増減なし・該当資産なしの場合
も、該当箇所を○で囲んで、ご提出ください。

① 【住所】
住所(又は納税通知送付先)及び電話番号を
正確に記入してください。

※ 所 有 者 コ ー ド

8 短 縮 耐 用 年 数 の 承 認 ⑧ 有 · 無

9 増 加 債 却 の 届 出 ⑨ 有 · 無

10 非 課 稅 該 当 資 産 ⑩ 有 · 無

11 課 稅 標 準 の 特 例 ⑪ 有 · 無

12 特 別 債 却 又 は 圧 縮 記 帳 ⑫ 有 · 無

13 税務会計上の債却方法 ⑬ 定率法・定額法

14 青 色 申 告 ⑭ 有 · 無

15 本店 真庭市久世2927-2
支店 真庭市勝山53-1

16 借 用 資 産 ⑯ 有 · 無

17 事 業 所 用 家 屋 の 所 有 区 分 ⑰ 自 己 所 有 · 借 家

18 備考(添付書類等)

1. 全資産申告(新規・電算)・増減申告

2. 作年中の申告資産に増減なし

3. 該当資産なし(必ず、4事業種目を記入して下さい)

4. 廃業・解散・転出等(年 月 日)

共有者:真庭 四郎 真庭市久世〇〇

CB18

⑯ 【事業所等資産の所在地】
2以上の所在地がある場合には、それぞれの
所在地を記入し、その主たる番号を○で囲んで
ください。

⑯ 【借用資産】
該当する方を○で囲んでください。「有」の場
合は、住所、所有者名を記入してください。

⑯ 【事業種目】
事業の種目を具体的に記入してください。また、
法人は資本金を記入してください。

⑯ 【事業開始年月】
事業開始年月(法人設立年月)を記入して
ください。

⑯ 【応答者】
申告内容について直接対応される方を記入して
ください。

⑯ 【税理士等】
経理を委託している税理士等の氏名及び電話
番号を記入してください。

⑯ 【8~14】
該当する方を○で囲んでください。

前年までに申告された内容を印字しておりますので、前年中(令和7年1月2日～令和8年1月1日)において、売却・滅失・他市町村への移動等で減少した資産について申告してください。

提出用

第二十六号様式別表二
(提出用)

令和8年度

種類別明細書(減少資産用)

所有者コード							
0012345678							

所有者名	枚のうち
真庭 太郎	

行 番 号	資 産 の 種 類	抹消コード ①	資 産 の 名 称 等	数 量 ②	取 得 年 月 ③	取 得 価 額	耐 用 年 数 (新) ④	申 告 年 度	減 少 の 事 由 及 び 分 区 分	耐 用 年 数 (旧)	摘要 ⑤	説 明
									1=売却 2=滅失 3=移動 4=その他			
01		2001-1	ユツショベル	1	4 12 3	8 550 000	5		1・2・3・4	1・2		
02		2001-2	ハツデンキ	1	4 15 2	2 000 000	10		1・2・3・4	1・2		
03		2001-3	オオガタヨウセツキ	1	4 13 9	3 250 000	7		1・2・3・4	1・2		
04		種類合計		3		13 280 000			1・2・3・4	1・2		
05									1・2・3・4	1・2		
06		6001-1	カンパン	1	4 12 3	200 000	3		1・2・3・4	1・2		
07		6002-0	パソコン	1	4 13 9	350 000	4		1・2・3・4	1・2		
08		6002-1	エアコン	3	5 4 15 2	690 000			1・2・3・4	1・2		
09		種類合計		7		1 150 000	6		1・2・3・4	1・2		
10						1 700 000			1・2・3・4	1・2		
11									1・2・3・4	1・2		
12									1・2・3・4	1・2		
13									1・2・3・4	1・2		
14									1・2・3・4	1・2		
15									1・2・3・4	1・2		
16									1・2・3・4	1・2		
17									1・2・3・4	1・2		
18									1・2・3・4	1・2		
19									1・2・3・4	1・2		
20									1・2・3・4	1・2		
				合計		10			15 500 000			

記入はすべて 赤色 でお願いします。

【抹消コード】
減少した資産の番号を
赤○で囲んでください。

【数量】
一部減少の場合は、必ず減少後の
数量に訂正してください。

【取得価額】
一部減少の場合は、必ず減少後の
残りの資産の価格に訂正して下さ
い。

【減少の事由及び区分】
1=売却 資産を売り払ったことによる
減少
2=滅失 売却と移動以外の減少
3=移動 資産を真庭市以外へ移動さ
せた場合
4=その他 資産の名称、数量、取得
年月、耐用年数の修正、取得価格の一
部増額など 4に○をされた方は、摘要
欄へ理由を記入下さい。

事由の4に○をされた方は全部又は
一部の記入は必要ありません。

《例 1》
オオガタヨウセツキを売却した。

抹消コード2001-3を赤色で囲み、減少の
事由及び区分欄の該当番号も赤色で囲む。

《例 2》

エアコン5台のうち、取得価格
230,000円の2台を売却した。

抹消コード6002-1を赤色で囲み、数量を
赤色で3に訂正し、取得価額を減少後の残り
の資産の価格に訂正し、減少の事由及び区分
欄の該当番号も赤色で囲む。

【摘要】

当該資産が減少した事由について「売却」に
あたっては売却先の名称、「滅失」にあたっては
滅失の理由を、「移動」にあたってはその受け
入れ先の住所地等を「その他」にあたってはそ
の減少の事由等を記入してください。